

18. 香櫨園駅周辺の「イチ押し産業遺産」 <西宮砲台跡>



香櫨園駅は 1907 年に開業された駅で、駅の下を流れる夙川の河川敷には桜の名所として知られる夙川公園がある。駅から夙川沿いに 800m ほど南に下った河口の御前浜を東に少し歩くと古い砲台が残されている。この砲台は現在「西宮砲台跡」として知られており国指定の史跡となっている。西宮砲台は江戸末期幕府により大阪湾防備を目的に造られた砲台で、写真1のように直径が約 19m、高さが 12m ほどの石造り円形砲台である。砲台横の説明板には 1866 年に完成されたと書かれている。今から 150 年ほど前のことである。砲台は高さ 6m（写真1 西宮砲台外観）ほどの周囲に砲眼 11 個と

窓が 1 つ観察できる。周囲は白い漆喰で塗られており、ところどころ黒ずんでいるところが古めかしさをかもし出している。建築技術としては土堤で囲った中央部に松クイを 1000 本以上も打ち込んで基礎とし、花崗岩の大岩を組み上げているとの説明がある。

当時同型の砲台は神戸の川崎、和田岬、西宮、今津に建設されたが、現存する砲台はこの西宮砲台と和田岬砲台の 2 カ所だけとのことである。ただ西宮砲台の内部は木造部分が焼失しており見ることはできないが、



和田岬砲台の内部とよく似ていたとの情報もあり、内部が観察できる和田岬砲台を見に行ってきた。外観部分は西宮砲台に比べて小さい感じがするが両者は構造が非常によく似ている。

内部はそのほとんどが当時のままで、写真2のように太い木材が入り組んで頑丈に組み立てられており、当時の建築技術の粋を集めたと思われる立派な木組みがなされていた。西宮砲台の内部も同じような立派な木造構造であったのであろうと 150 年前の西宮砲台に思いをはせていた。

(写真2 和田岬砲台内部)

(島田 宣義 記)